

2011年6月3日

社団法人 日本プロサッカーリーグ 御中
一般社団法人 日本フットボールリーグ 御中
地域・都道府県サッカー協会 御中
JFA 審判委員会 御中

財団法人日本サッカー協会
事務局長 田中道博

FIFA Early Warning System (FIFA早期警告システム/EWS) について

このたびの東日本大震災により被災された地域の皆様、関係の皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、弊協会では本年度シーズンより、違法なスポーツ賭博による八百長(試合の不正操作)の可能性を検知するシステム(FIFA Early Warning System(以下、EWS))を導入しております。

昨今、インターネットによる「サッカー賭博」が世界的な広がりをみせており、違法な賭博によって審判や選手が買収される「八百長」行為が世界各地で多発しています。弊協会はこのような事態を問題視し、日本において八百長行為を未然に防ぐための措置として同システムを導入しました。

ご存じの通り、先日、韓国 K リーグにおいて大々的な八百長事件が発覚し、関与したとされる複数の選手、監督等の関係者が逮捕されました。日本のサッカーにおいても、選手や審判が悪意のある者から「八百長行為へ加担するように」と誘いを受けてしまう可能性が十分にあるという状況にあります。

サッカーファミリーの皆様には、絶対にこれらの行為に関与することがないようにくれぐれもご注意いただきたいと思えます。仮にこのような行為を企てたとしても、日本の試合はEWSシステムによって監視されており、それらの行為は容易に検知されてしまうことを強調したいと思えます。

我々日本サッカー協会は、サッカー競技の尊厳を汚すあらゆる不正行為に対し断固として闘って参ります。皆様におかれましても、選手、審判、その他関係者等へ本件を周知すると共に、ひとりひとりがサッカーの価値を守り高める役割を担っていることを強調して頂きたいと思いたします。

[EWS 概要]

違法なスポーツ賭博による「試合操作」(審判、選手の買収など)の可能性を検出し、警告するシステム。FIFA (FIFA EWS 社)によって運営され、世界中の賭博事業者/ブックメーカー等から即時的に提供されるさまざまな情報の分析、さらには試合の映像分析などを基に、「不正操作(八百長)が行われている可能性」を24時間365日監視するシステム。「不自然な情報」が検知された場合、即座にJFAに対して「警告」の連絡が入る。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

(財)日本サッカー協会 総務部 永井/播磨 (TEL: 03-3830-1805)

(社)日本プロサッカーリーグ 管理部 藤村/中村 (TEL: 03-3830-1861)

※仮に「八百長」に関する具体的な情報があつた場合もこちらまでお知らせください(情報提供元に関する秘密は厳守いたします)